

2020年3月期 第2四半期決算説明会

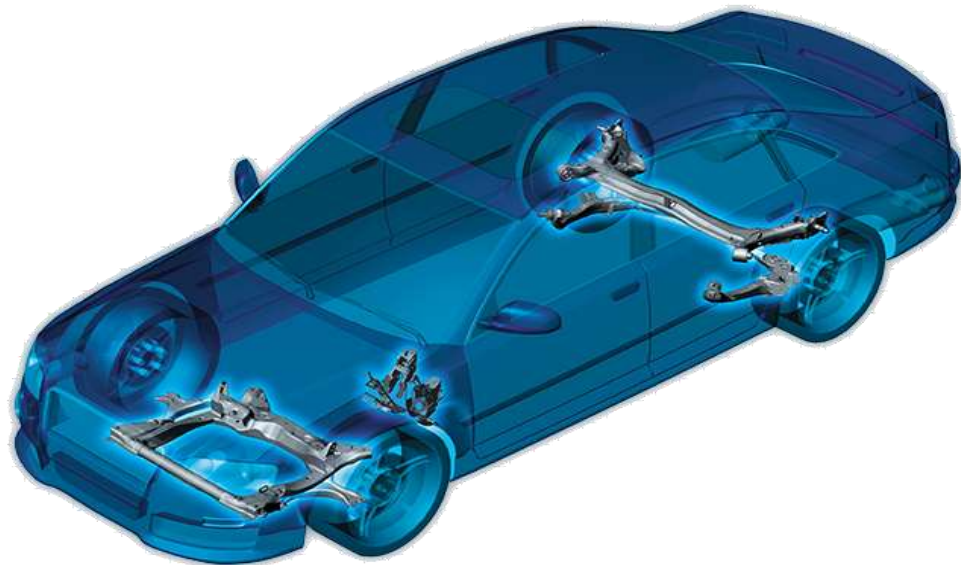
2019年11月8日

株式会社エフテック

東証1部:7212

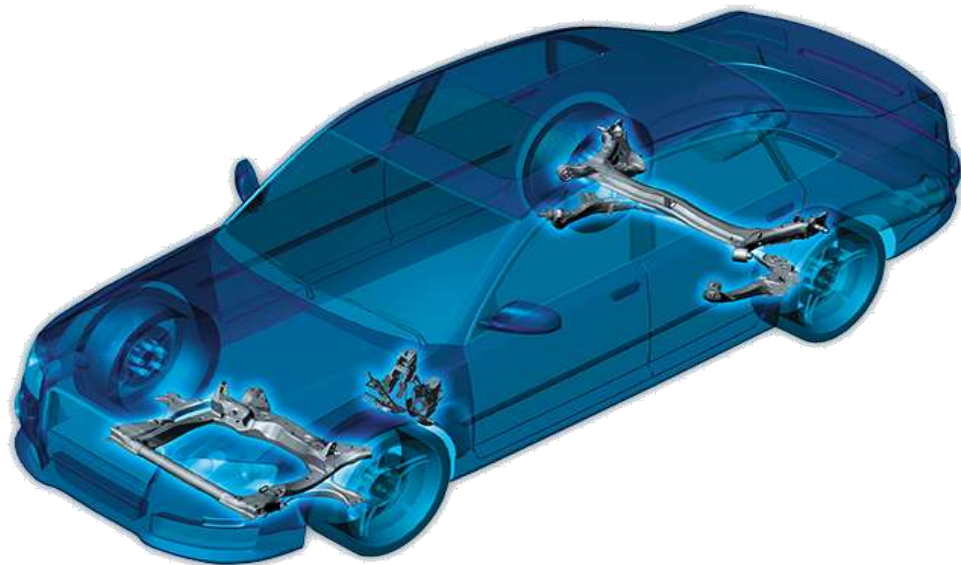
<https://www.ftech.co.jp>

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2019年3月期 2Q累計実績		2020年3月期 2Q累計実績		増減	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	115,393	100.0%	112,355	100.0%	▲3,038	▲2.6%
営業利益	2,995	2.6%	2,129	1.9%	▲866	▲28.9%
経常利益	2,567	2.2%	1,515	1.3%	▲1,052	▲41.0%
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,398	1.2%	▲127	▲0.1%	▲1,526	-
1株利益(円)	74.89	—	▲6.82	—	▲81.71	-

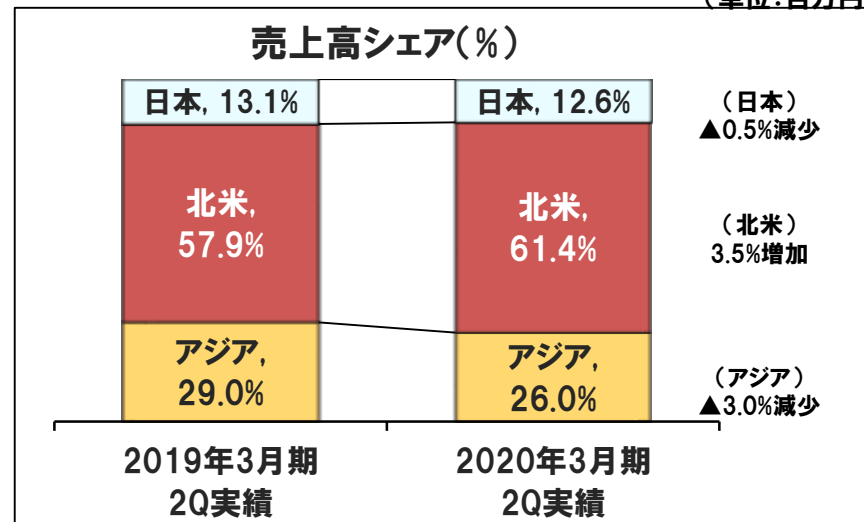
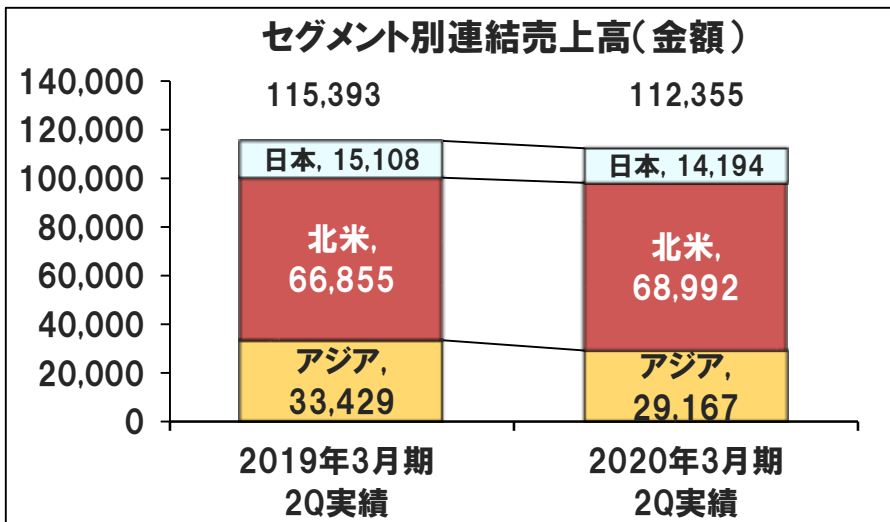
為替

	2019年3月期2Q	2020年3月期2Q	増減額
1US\$	110.71円	108.68円	▲2.03円
1CAN\$	85.08円	81.72円	▲3.36円
1人民元	17.00円	16.23円	▲0.77円

減収減益(減収:円高影響、減益:アジアの製品売上減少影響)

連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	'19年3月期2Q	'20年3月期2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	15,108	14,194	▲913	▲6.0%	—	▲913	▲6.0%
北米	66,855	68,992	2,137	3.2%	▲1,807	3,944	5.9%
アジア	33,429	29,167	▲4,261	▲12.7%	▲901	▲3,360	▲10.1%
連結	115,393	112,355	▲3,038	▲2.6%	▲2,708	▲330	▲0.3%

連結売上の87.4%が海外拠点。アジアの減収を北米の増収でカバー。

セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	金額			
	2019年 3月期 2Q実績	2020年 3月期 2Q実績	増減	増減率
日本	232	▲432	▲665	▲286.4%
北米	▲319	395	714	-
アジア	2,810	1,928	▲881	▲31.4%
合計	2,723	1,890	▲832	▲30.6%
調整	271	238	▲33	▲12.3%
連結	2,995	2,129	▲866	▲28.9%

シェア		
2019年 3月期 2Q実績	2020年 3月期 2Q実績	増減
7.8%	▲20.3%	▲28.1%
▲10.7%	18.6%	29.2%
93.8%	90.6%	▲3.3%
90.9%	88.8%	▲2.1%
9.1%	11.2%	2.1%
100.0%	100.0%	-

営業利益増減要因

日本

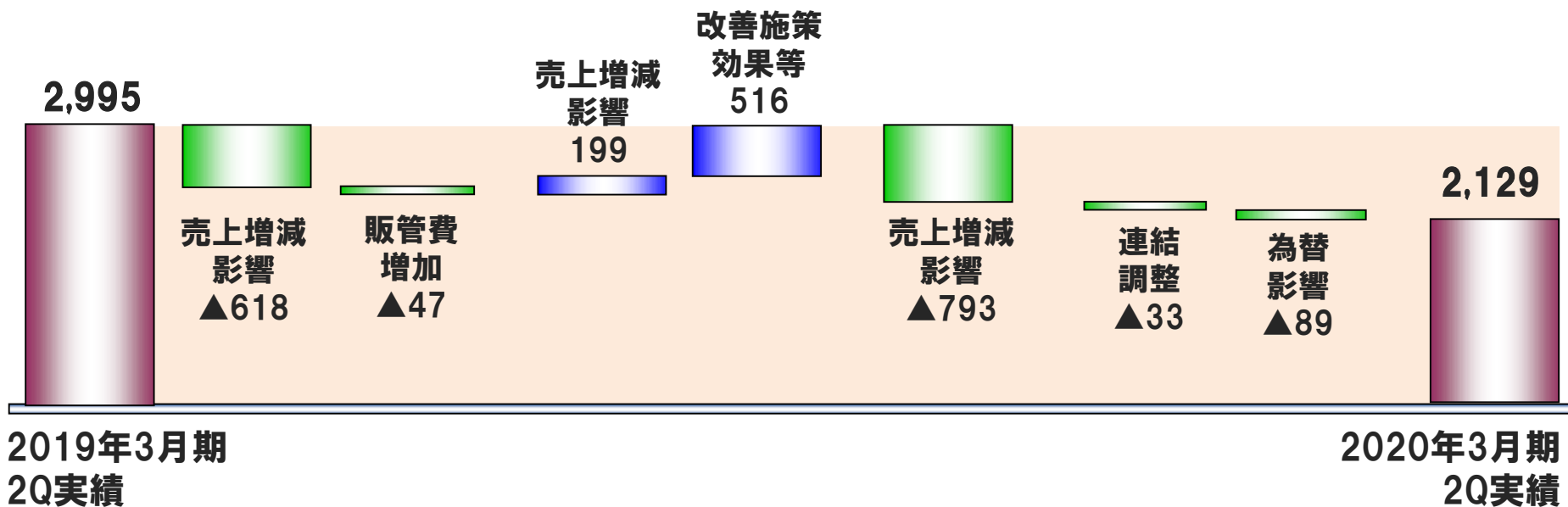
北米

アジア

減益

増益

(単位:百万円)



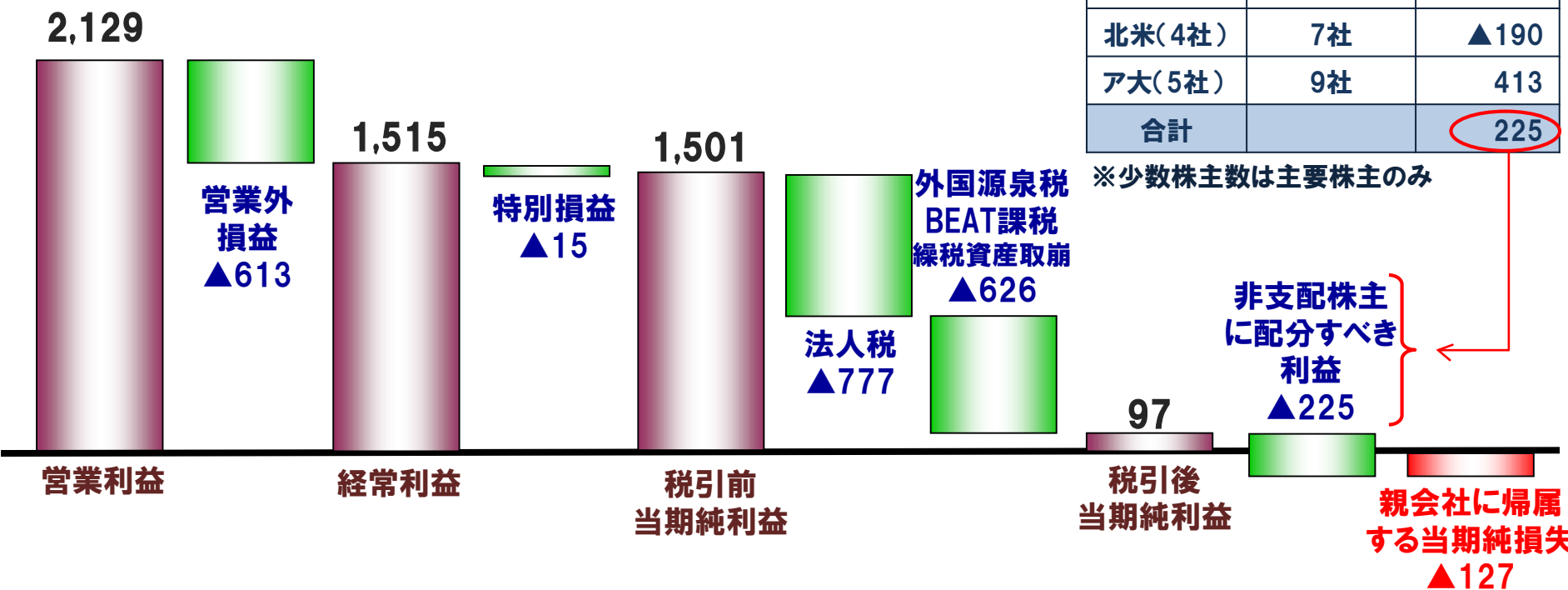
(参考)親会社に帰属する当期純損益

(単位:百万円)

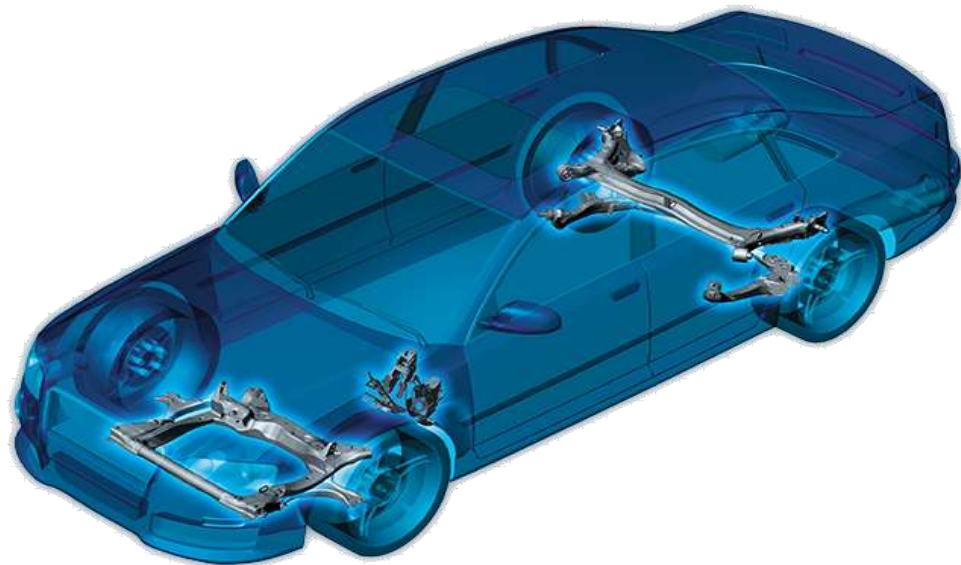
【非支配株主に帰属する利益】

セグメント	少数株主数	帰属利益
日本(2社)	2社	2
北米(4社)	7社	▲190
ア大(5社)	9社	413
合計		225

※少数株主数は主要株主のみ



1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結業績予想(2020年3月期予想)

(単位:百万円)

	2020年3月期通期 前回発表(5月9日)		2020年3月期通期 今回発表(11月7日)		増減	
売上高	218,000	100.0%	221,000	100.0%	3,000	1.4%
営業利益	6,000	2.8%	5,000	2.3%	▲1,000	▲16.7%
経常利益	5,500	2.5%	4,300	1.9%	▲1,200	▲21.8%
親会社株主に帰属する当期 純利益	2,500	1.1%	1,100	0.5%	▲1,400	▲56.0%
1株利益(円)	133.84	—	58.89	—	▲74.95	▲56.0%

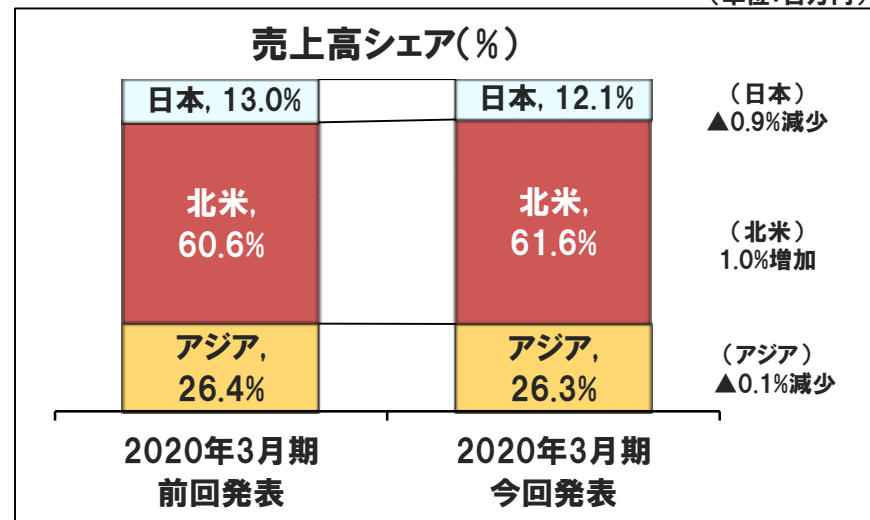
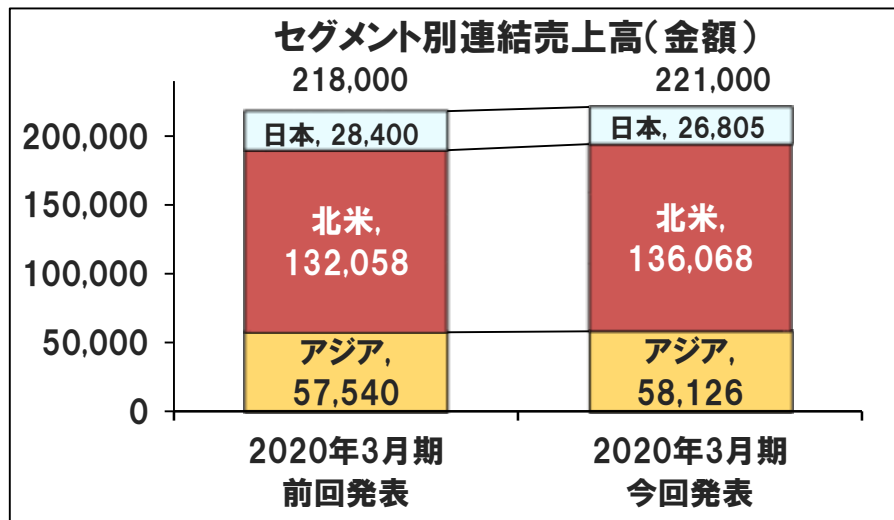
為替

	前回発表	今回発表	増減額
1US\$	107.00円	106.84円	▲0.16円
1CAN\$	82.50円	80.86円	▲1.64円
1人民元	16.00円	15.73円	▲0.27円

増収減益(増収:新規得意先の生産増加、減益:GMのスト影響、日本の減産影響等)

連結売上高(2020年3月期予想)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	前回発表	今回発表	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	28,400	26,805	▲1,595	▲5.6%	—	▲1,595	▲5.6%
北米	132,058	136,068	4,009	3.0%	▲1,107	5,116	3.9%
アジア	57,540	58,126	585	1.0%	▲374	959	1.7%
連結	218,000	221,000	3,000	1.4%	▲1,480	4,480	2.1%

北米の新規得意先で既存得意先の減産をカバー

セグメント別営業利益(2020年3月期予想)

(単位:百万円)

	金額			
	2020年 3月期 前回発表	2020年 3月期 今回発表	増減	増減率
日本	125	▲430	▲556	▲441.7%
北米	1,777	1,475	▲301	▲17.0%
アジア	4,260	4,168	▲92	▲2.2%
合計	6,163	5,213	▲949	▲15.4%
調整	▲163	▲213	▲50	-
連結	6,000	5,000	▲1,000	▲16.7%

シェア		
2020年 3月期 前回発表	2020年 3月期 今回発表	増減
2.1%	▲8.6%	▲10.7%
29.6%	29.5%	▲0.1%
71.0%	83.4%	12.4%
102.7%	104.3%	1.5%
▲2.7%	▲4.3%	▲1.5%
100.0%	100.0%	-

営業利益増減要因

日本

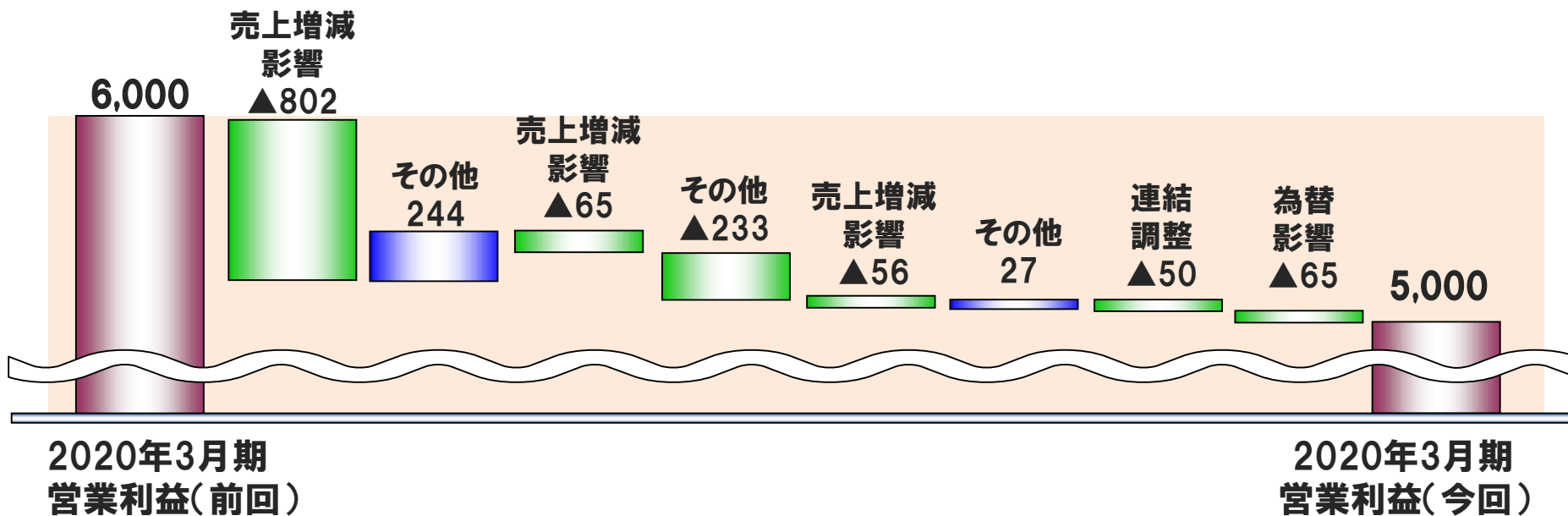
北米

アジア

減益

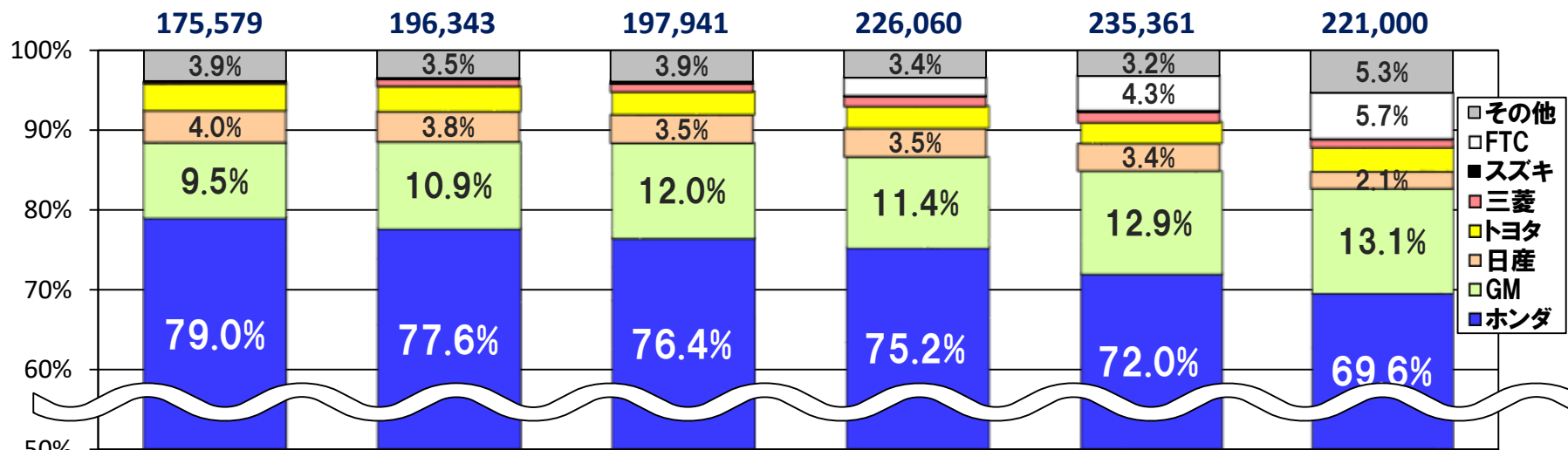
増益

(単位:百万円)



得意先別売上高の推移

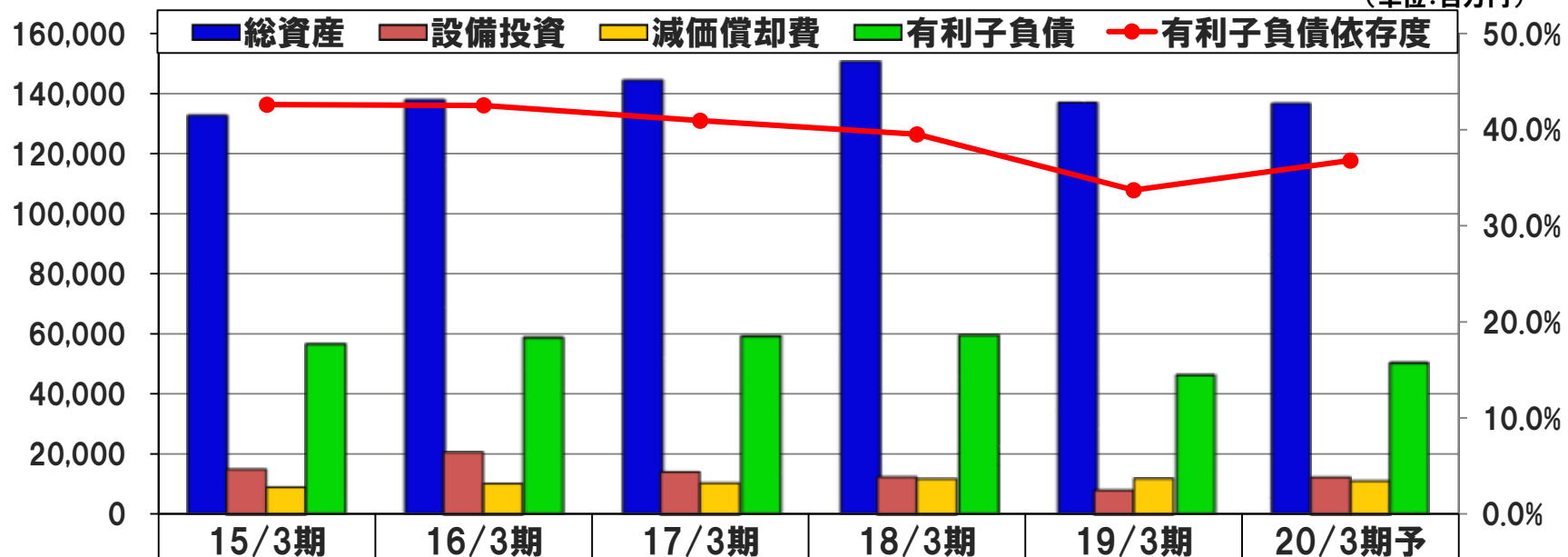
(単位:百万円)



	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期計画
ホンダ	138,635	152,435	151,282	170,089	169,512	153,921
GM	16,622	21,345	23,683	25,782	30,258	28,929
日産	7,024	7,435	6,985	7,957	7,977	4,543
トヨタ	5,875	6,204	5,658	6,428	6,300	6,828
三菱	526	1,803	2,036	2,648	3,051	2,457
スズキ	135	321	197	269	472	287
FTC(新)			373	5,183	10,407	12,497
その他	6,762	6,800	7,728	7,705	7,384	11,537
	175,579	196,343	197,941	226,060	235,361	221,000

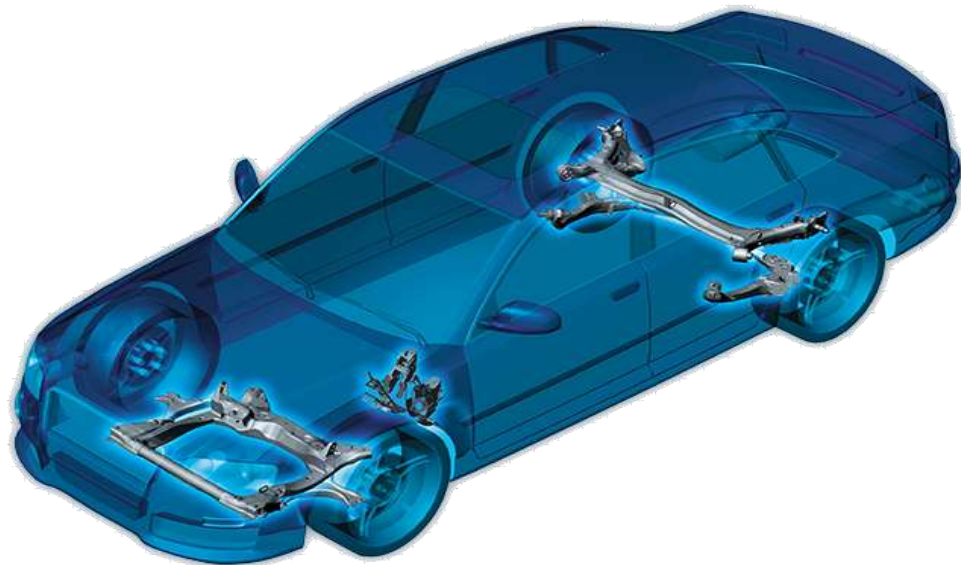
財務の状況

(単位:百万円)



	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期予
総資産	132,697	137,980	144,420	150,525	137,010	136,717
設備投資	14,987	20,578	14,094	12,435	8,056	12,374
減価償却費	8,920	10,081	10,335	11,666	11,720	10,944
有利子負債	56,570	58,686	59,129	59,510	46,220	50,296
有利子負債依存度	42.6%	42.5%	40.9%	39.5%	33.7%	36.8%

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

会社方針 Back to Basics, Challenge for New

2017/3月期

2018/3月期

2019/3月期

2020/3月期

実績

連結売上高
1,979 億円
営業利益率
4.1%
有利子負債依存度
40.9%

健全なる財務体質
高収益企業の実現

目標

連結売上高
2,120 億円
営業利益率
5.0%
有利子負債依存度
35.0%

Back to Basics

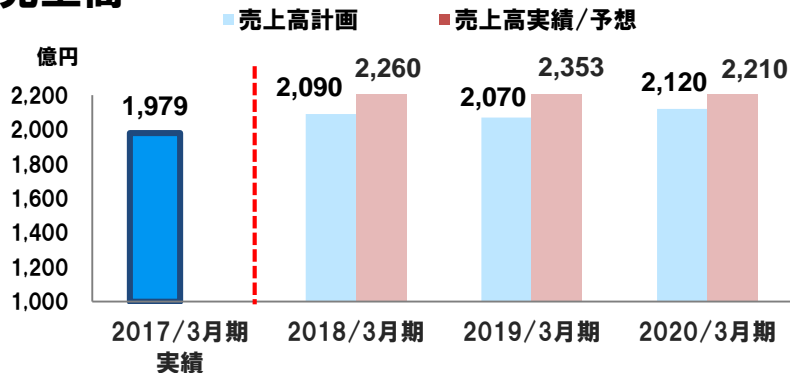
- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

Challenge for New

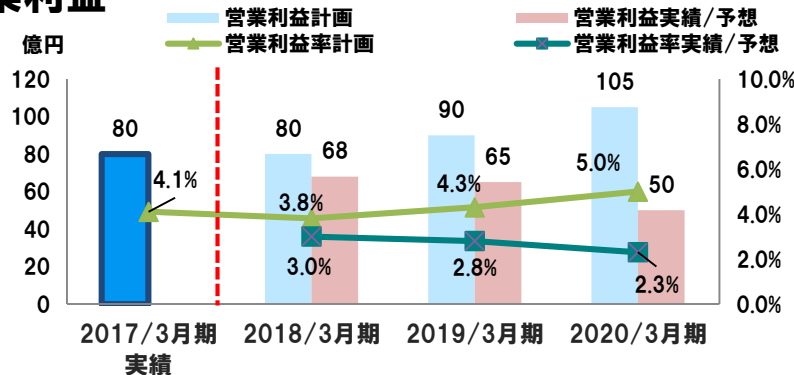
- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

中期3力年経営計画 ~経営目標~

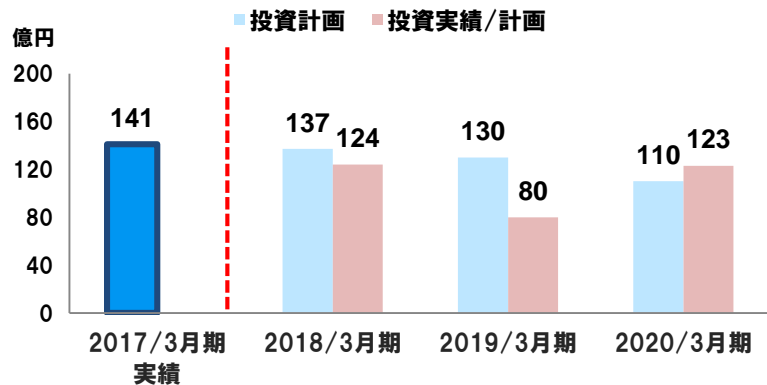
売上高



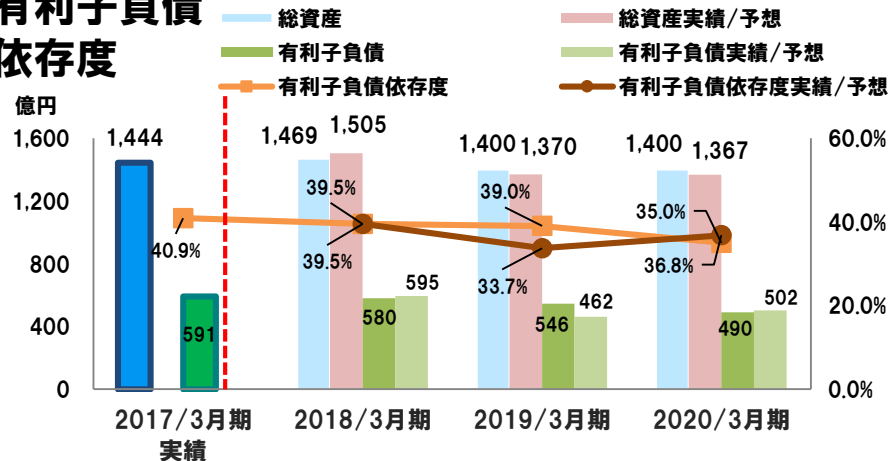
営業利益



投資計画



有利子負債依存度

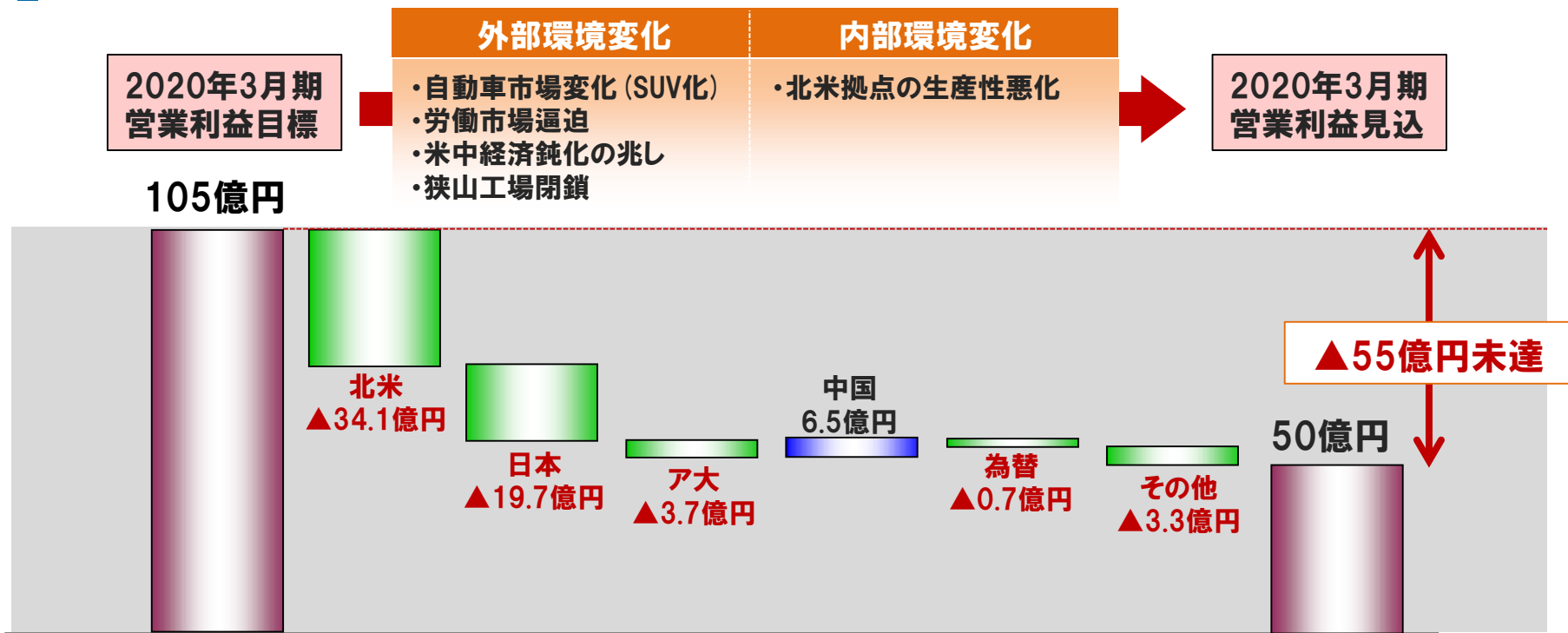


中期経営計画3年目計画対実績

(億円)	中期経営計画3年目	2019年度修正発表	達成
売上高	2,120	2,210	○
営業利益	105	50	×
投資計画	110	124	×
投資平均(3年Ave.)	126	109	○
有利子負債額	490	502	△
有利子負債依存度	35.0%	36.8%	△

売上高は計画通り進捗。投資計画、有利子負債額、有利子負債依存度もほぼ計画通り進捗。ただし、営業利益は計画比大幅未達の見込であり課題解決中。

営業利益額セグメント別の増減要因



北米の収益改善及び日本・ア大の減収対応が急務

	発生した問題	課題	ここまでの取組
コスト削減	コストアップ 労務費・外注費+付随	物流改善 内作取込 要員削減 ▶ 効率化、物流改善は途上	<ul style="list-style-type: none">● 倉庫集約、ライン構成変更→工場内導線効率化● 内作取込は6月までに一部実施。11月に追加● 効率化、物流改善で削減中（12月完了予定）
ロスの削減	ロスの増加 仕損/追加検査の発生	プレス精度改善 仕損の削減進展 ▶ 更なる改善が必要	<ul style="list-style-type: none">● 日本より技術者派遣、指導実施し、金型補修を中心とした熟練者の育成を実施● 金型の精度向上→プレス精度向上しロスは削減傾向
生産効率アップ	生産効率低下 更なる外注の発生	作業者習熟度アップ 自動化推進 ▶ 退職者も多く効果は限定的	<ul style="list-style-type: none">● 日本からのサポート要員によりプレス中心にOJT実施。退職者削減のため契約社員を正社員化● 一部溶接ラインの一部自動化。検査、部品払出の自動化を推進

収支の悪化

各種改善策を進め徐々に効果は出始めているものの、主要得意先の生産変化もあり改善は緩やか

発生した問題	発生した事象	課題/取組
販売台数の伸び悩み	売上高の下振れ発生	<ul style="list-style-type: none">● 現調化の流れに即した既存先拡販の促進● 新規顧客の開拓● 継続的に新規事業を模索
生産ラインの空洞化	固定費比率の悪化 減価償却負担の高まり	<ul style="list-style-type: none">● 倉庫集約→固定費の削減● 投資の削減
過剰な要員	労務費用の増加	<ul style="list-style-type: none">● 間接業務の効率化→業務統合による生産性向上● 生産ラインの効率化→直接要員の削減● 創意工夫(カラクリ改善)→自動化、効率化推進

収支の悪化

日本・ア大地域においても拡販を促進しながらも固定費のスリム化を行い、収益性の確保を図る。

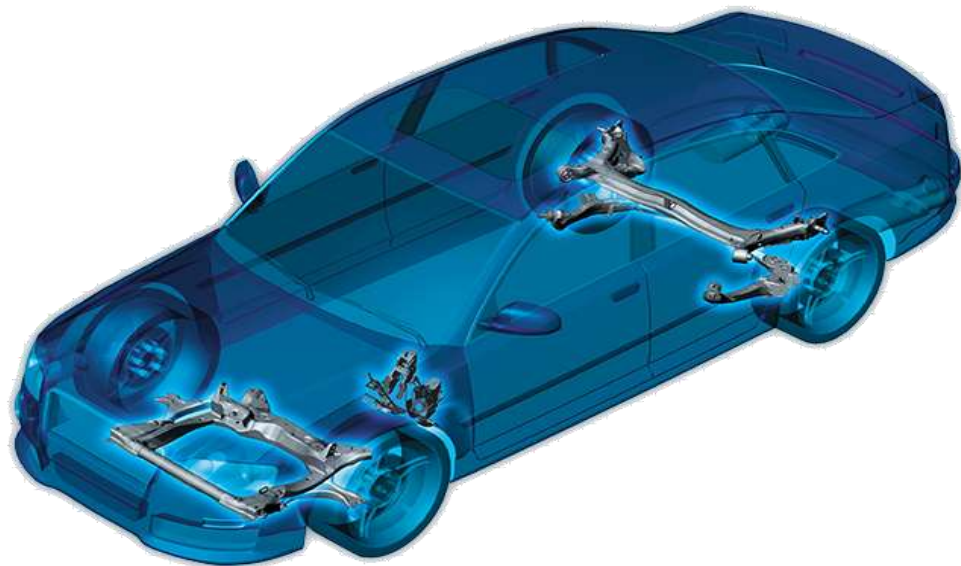
この度の増資は、主要得意先及び新規得意先からの新規受注に伴い、設備投資並びに工場拡張に充当するとともに、財務体質の強化を図ることを目的としております。

増資の概要

払込金額	30.0百万USDドル	
払込日	2019年12月上旬(予定)	
(百万USDドル)	増資前	増資後
資本金	28.9	50.0
資本剰余金	3.1	12.0
出資比率(当社)	87.5%	93.5%

※ 1USDドル19.05メキシコ・ペソ(2019年10月28日時点の為替相場)にて換算

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

受注・生産状況 ~2020年3月期上期(4月~9月)生産開始新機種~

※一部のみ表記

		HONDA	GM	NISSAN	MITSUBISHI	SUZUKI		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
HONDA	日 本	下期に新機種が順次立ち上げ予定						
	北 米							
	中 国	ACCORD, CRIDER兄弟車	VEZEL	CIVIC	XRV		ELYSION, XRV流用新機種	
	ア 大		ACCORD					
General Motors								
北 米			Cadillac CTS		BUICK Excelle 他			
中 国	BUICK Excelle 他							
OTHER								
中 国			SILPHY (NISSAN)					
ア 大					L300 (MITSUBISHI)		ALTO (SUZUKI)	

北米

日本

アジア

トヨタ車
シャーシ生産受注

トヨタ車
シャーシ生産受注

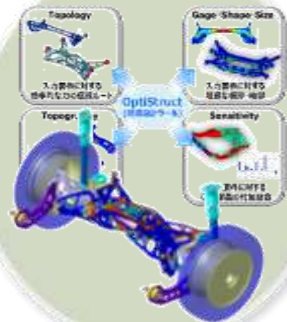
トヨタ車
シャーシ生産受注

当該部品の設計開発は
当社が行っております

北米、日本、アジア地域で足廻り部品を受注！
今後とも関係を強化し、さらなる取引拡大に努める

<エフテックの独自開発技術>

人のノウハウとシミュレーション 技術を融合し最適設計を実現



OPTISTRUCT
(最適設計ツール)
LINER ANALYSIS

Crush: Abaqus

NV: NASTRAN



Sus Characteristic: ADAMS

設計精度の向上

- ・製品性能(強度・剛性・振動)
- ・製造領域(プレス・溶接・塗装)
まで加味した設計を実現

軽量化の 更なる向上

空間梁解析
↓
強度・剛性・衝突性能と
軽量化を両立

開発スピード の向上

- ・試作機会の極少化
- ・設計精度の向上
↓
開発期間2ヵ月短縮

素材メーカーとの共創

-材料進化-

適用グレード拡大 (超ハイテン化)
590/780材 ⇒ **980/1180材**

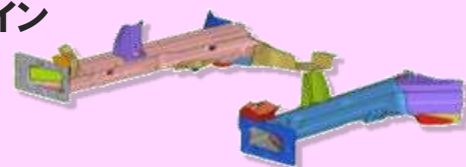
**材料・工法に合わせた
製品仕様/形状のアウトプット**

- ・衝突性能
 - ・剛性 (操安/NV)
 - ・強度
- からの最適板組み

- 加工技術
- ・成形手法
- ・CAE/予測技術
- ・材料知見
- ・評価指標

ボディ骨格部品

- ◆材料
 - ・鋼板: 高ハイテン薄板メイン (780~980Mpa級)
- ◆接合
 - ・抵抗溶接メイン (SPOT/Projection Weld)



Bodyメーカーとの共創

シャーシ足廻り部品

- ◆材料
 - ・鋼板: 比較的厚板メイン (270~590Mpa級)
- ◆接合
 - ・MIG溶接メイン (P.W.併用)



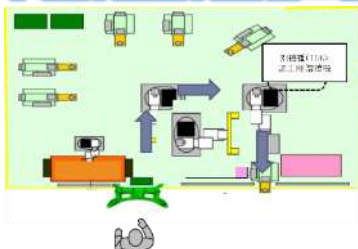
両社know-howを融合、生き残りをかけた新たな領域へチャレンジ

久喜事業所

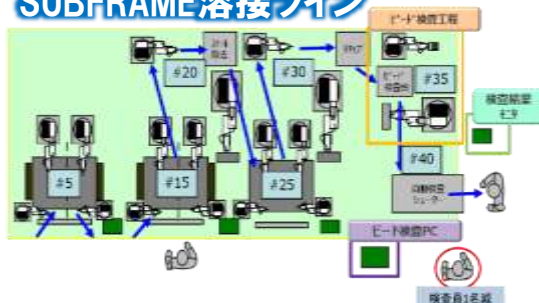
アーク溶接自動工程の稼働率向上改善※1

アーク溶接ビード検査自動加工案※2

※1
小組部品用自動化工程



※2
SUBFRAME溶接ライン



レイアウトの最適化

レーザースキャナー溶接検査の活用

稼働率:12%UP
製造原価:2.8%DWN

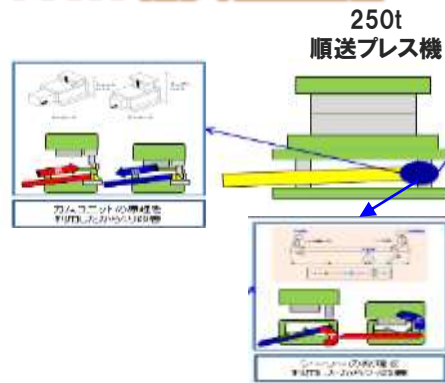
検査要員削減
コスト大幅削減

亀山事業所

250t プレス スクラップ詰まり防止機構の考案※3

検査作業台の改良※4

※3
スクラップ詰まり防止機構



※4
検査台の改良



効率:154%UP(前年比)
費用:年間524千円削減

改善前と比較して
出来高200台/月UP

人とくるまのテクノロジー展 in横浜

5月22日～5月24日

- 場所:パシフィコ横浜
- 内容:ブース出展



他業種の方との交流

社内では当たり前技術も
他にはマネのできない技術がある

具体的な案件へと進展

人とくるまのテクノロジー展 In名古屋

7月17日～7月19日

- 場所:ポートメッセなごや
- 内容:ブース出展



エフテックグループの“加工技術と金型技術”をPR
企業ブランドと認知度向上、新たなビジネスチャンスへ



- 子供向けに文房具の配布
- 環境活動の一環として植木の実施
- 三重県知事が表敬訪問
- 「みえの働き方改革推進企業」認定
- 久喜事業所創業40周年

エフテックグループはグローバルで地域社会とつながり、
人材育成支援、森林づくり、社会貢献等に取り組んでいます

ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック 管理本部 総務部/経理部

代表TEL 0480-85-5211

Mail webmaster@ftech.co.jp